

部会長：伊香賀俊治（慶應義塾大学）

## 経済性と評価／格付部会の活動方針（案）

### 1. 部会の目的

個々人および組織総体としての知的生産性向上に資する建築物の総合的な経済性と環境性能の評価・格付け手法を検討する。具体的には、主として個々人の知的生産性向上に資する建築・設備計画のあり方を検討する「環境・設備 生理／心理部会」と「環境・設備 計画／評価部会」の研究成果と、主として組織総体としての知的生産性向上に資する建築空間のあり方を検討する「建築空間 計画／設計部会」の研究成果を総合化して評価／格付け手法を提案する。

### 2. 研究内容

- （1）個々人および組織総体としての知的生産性向上に関する国内外の既往研究を調査する。
- （2）建築物総合環境性能評価システム（CASBEE）における Q1：室内環境、Q2：サービス性能、Q3：屋外環境の各評価基準への知的生産性評価の反映方法を検討する。
- （3）CASBEE 等の評価／格付けシステムと連携した経済性評価手法を検討する。

### 3. 方法

- （1）国内外の既往研究、並びに米国の建築物総合環境性能評価システム（LEED-NC、LEED-EB）など、海外の先行事例を調査する。
- （2）個々人および組織総体としての知的生産性評価の CASBEE への反映方法、経済性評価手法を検討する。

### 4. アウトカム

- （1）個々人および組織総体としての知的生産性評価の CASBEE への反映方法の提案
- （2）CASBEE 等と連携した経済性評価手法の提案

### 5. 部会の委員構成案

伊香賀俊治（慶應義塾大学理工学部教授） 部会長  
部会長を中心として部会委員を構成する。

# 経済性と評価／格付部会 の活動方針(案)

慶應義塾大学 伊香賀俊治

# 知的生産性向上に資する建築物の 経済性・環境性能評価手法の提案

室内の物理環境と個々人の知的生産性評価

→ Q-1室内環境

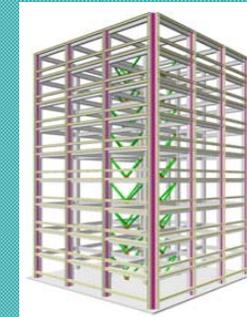
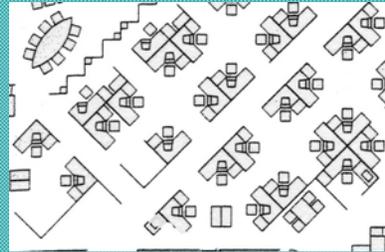
「環境・設備 生理／心理部会」、  
「環境・設備 計画／評価部会」と連携



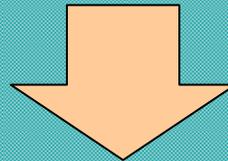
組織総体としての知的生産性評価

→ Q-2サービス性能とQ3室外環境の一部

「建築空間 計画／設計部会」と連携



海外の先行事例  
の調査



- ・建築物総合環境性能評価システム(CASBEE)への知的生産性評価の反映
- ・経済性評価手法の検討